

レジリエンスを育む過程と大学の貢献

—東日本大震災の被災地への東京大学の取り組みを事例として—

Thu, 28th January 2016, 18:00-20:00ish

Room235&236, Agriculture Building 7 B, U-Tokyo

About Our IEL



被災地が自ら立ち上がる力(レジリエンス)を育む際に大学ができる貢献とは？

岩手県大槌町の産業と生活の復興・発展を目指した「大槌イノベーション協創事業」

本企画は事業関係者・大学教員・学生の視点で事業を振り返り大学による貢献のあり方を模索する交流型IELです！

Presenters



黒倉教授



新谷氏

黒倉 壽教授 (東京大学大学院農学生命科学研究科教授)
～東京大学大槌イノベーション協創事業について～

新谷 洋一氏 (株式会社ひょうたん島 代表)
～コンソさかなでの経験とひょうたん島 代表の設立～

鈴木 崇史 (東京大学大学院農学生命科学研究科 博士課程)
～被災から大学での活動を通じた復興貢献を目指して～

※画像は大槌イノベーション協創事業提供



プロジェクトの成果
大槌の水産加工品や
お刺身の
品評会も実施！

English details available on facebook!

